

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

第②類医薬品

イブプロフェンを配合した解熱・鎮痛剤

セダックス錠

特徴
セダックス錠は、イブプロフェンを配合した解熱・鎮痛剤で、痛みや発熱の原因となる物質（プロスタグランジン）を抑え、優れた解熱・鎮痛作用をあらわします。

使用上の注意

❌してはいけないこと

- （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）
- 次の人は服用しないこと
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15才未満の小児。
(4) 出産予定日12週以内の妊婦。
 - 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
 - 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）
 - 服用前後は飲酒しないこと
 - 長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 高齢者。
(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(6) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
(7) 次の病気にかかったことがある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）

（裏面につづく）

心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、下痢、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

- 頭痛・歯痛・拔牙後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・生理痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人（15才以上）	2錠	3回を限度とする
15才未満	服用しないこと	

〔用法・用量に関連する注意〕

- 用法・用量を厳守すること。
- 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、錠剤を取り出して服用してください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



〔成分・分量〕

1回量（2錠）中

	有 効 成 分	含 量	は た ら き
解熱・鎮痛薬	イブプロフェン	150mg	発痛・発熱物質を増強するプロスタグランジンの合成を阻害します。
鎮痛・鎮静薬	アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	痛みからくる神経の高ぶり、イライラ、不安感等を鎮めます。また、イブプロフェンの鎮痛効果を高めます。
中枢興奮薬	無水カフェイン	80mg	血流をよくし、各成分の吸収を高めるとともに、気分をすっきりさせます。

添加物として白糖、セルロース、カルメロースCa、ヒドロキシプロピルセルロース、硬化油、ステアリン酸Mg、乳糖水和物、エチルセルロース、マクロゴール、タルクを含有します。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれる等、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

日邦薬品工業株式会社 お客様相談室 電 話：03(3370)7174(代表)
受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

発売元 日邦薬品工業株式会社 製造販売元 牛津製薬株式会社
東京都渋谷区代々木3-46-16 佐賀県小城市牛津町下砥川1-2